

教科名	工業	科目名	情報技術基礎	
科目の目標	現在、さまざまな分野で利用されているパソコンの基本操作及びアプリケーションソフトの使用を学び、パソコンを操作する事に慣れ親しむ。また、新BASICプログラムなど情報技術の基本を理解する。			
履修学年	1 学年	学科・コース	建築科	
単位数	2 単位	授業形態	40名(パソコン実習室)、40名(教室)	
教科書	情報技術基礎(実教出版)	副教材等	情報技術検定問題集(実教出版)	
1 学習の目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築科では、パソコンの基本とアプリケーションソフト、情報モラルを学び、パソコンの基本操作ができる力を付け、建築CAD検定4級に全員合格する事を目標とする。</li> <li>・情報技術に関する基本的な知識と技術を学び情報技術検定3級も全員合格する事を目標とする。</li> </ul>				
2 学習内容と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン教室40名展開とし、教科書及び副教材の内容を中心に学習を進める。また、建築CAD検定に向けた学習を行う。</li> <li>・教室では、情報技術検定3級合格に向けた学習を行う。</li> </ul>				
3 学習の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンは慣れ親しむ事が大切だが、限られた時間内なので、集中して授業に臨むこと。</li> <li>・授業で学習した内容はフラッシュメモリーに保存し、そのデータを再活用するので慎重に扱うこと。</li> <li>・7月に建築CAD検定4級受検予定。1月に情報技術検定3級受検予定。</li> <li>・実技においては、進度に差が出ることが考えられるが、他の生徒の学習を妨げることは厳禁。</li> </ul>				
4 評価の観点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期と3学期の定期考査は行なわないので、普段の授業の取り組み姿勢、提出物の内容・期日を総合的に評価します。2学期は定期考査を行います。</li> <li>・各種検定の合格は、評価に加点するが、普段の授業の取り組み姿勢の度合いにより、0も有りうります。</li> </ul>				
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考査等
4	情報技術基礎 について	オリエンテーション	<b>【関】</b> ・CADに関する効率的な操作方法に に関心がある。 <b>【思】</b> ・建築製図の基礎を理解しつつ正確な 図面を描くことが出来る。 <b>【技】</b> ・その時々に応じた操作方法を適切 に用いることが出来る。 <b>【知】</b> ・建築構造などで学んだ知識を生か したCAD図面を描くことが出来る。	この単元を自己評 価してみよう A B C
	CADソフトの操作	CADソフトの操作 2次元CADソフト 「jw-CAD」		
5		CADの基本操作 ・レイヤーやグループの概念 ・作図に必要な各種コマンド の理解する。 ・建築税図の基礎を理解し つつ、効率的な作図方法を学ぶ		
6		建築CAD検定対策 ・建築構造を理解し、さらに 建築CAD検定4級に対応し た作図方法を学ぶ。		
7				
	建築CAD検定対策			
				中間試験

8	情報技術検定対策		【関】 ・基本論理回路とその応用回路に関心がある。 ・処理装置と周辺装置に関心がある	この単元を自己評価してみよう A B C
9			【思】 ・10進数の構成から、2進数と16進数の構成が類推できる。	
10			【技】 ・コンピュータがどのように利用されているか、教科書の記述内容以外の範囲で調査し、報告書を作成したり、発表したりできる。	この単元を自己評価してみよう A B C
11			【知】 ・2進数と16進数について理解し、四則計算や変換計算ができる。 ・AND・OR・NOT・NAND・NOR回路の機能を理解し、それらを応用回路に利用する知識が身についている	
12	まとめ			
1	各種ソフトの操作	アプリケーションソフト応用 マイクロソフト社、「Word」	【関】 ・ワープロソフトや表計算ソフトの	期末試験
2		、「Excel」の操作方法を学ぶ。	【思】手書き・ソフトによる表現の	
3	情報モラルと 情報セキュリティ	情報機器の発達と社会への影響	【技】適切なプレゼンテーションが行える資料を作成することが出来る。 【知】各ソフトの操作及び、相互に作成したデータを活用できる。 【知】コンピュータが発展してきた簡単な歴史とセキュリティについて理解しているか。	

【関】は「関心・意欲・態度」【思】は「思考・判断・表現」【技】は「技能」【知】は「知識・理解」を表す